

EMERGENCY LIGHT FOR AUTOMOBILE

Patent Number: JP10291439

Publication date: 1998-11-04

Inventor(s): KOBAYASHI SOUJI

Applicant(s): KOBAYASHI SOUJI

Requested Patent: ☐ JP10291439

Application Number: JP19970102890 19970421

Priority Number(s):

IPC Classification: B60Q7/00; A62B37/00; B25D1/00; B26B11/00; F21L11/00

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To break a window glass with a hammer head for escape, and to cut a seat belt with a cutter for escape by fitting the hammer head and seat belt cutter to a part of a light main body, in which a light emitting body is flashed by turning a switch on.

SOLUTION: A barrel part 1a of a main body is formed of a transparent material, and a light emitting body (LED) 2 is fitted inside thereof, and a lighting lamp 3 is fitted to a tip thereof. The light emitting body 2 is flashed by a switch 5a, and the lighting lamp 3 is lighted by a switch 5. A hammer head 6 is fitted to a rear end of the main body 1, and an iron hammer part 7, of which tip is tapered in the lateral direction, is formed. A cutter 8 is fitted to the hammer head 6, and a seat belt is inserted into a groove 10 so as to be cut. Furthermore, when a water sensor 12 is sunken in the water and operated, the light emitting body 2 is automatically flashed. With this structure, a fall position is immediately ascertained, and an occupant can escape from inside of an automobile for safety by breaking the window glass and cutting the seat belt.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-291439

(43) 公開日 平成10年(1998)11月4日

(51) Int.Cl.⁵

識別記号

F I

B 6 0 Q 7/00

6 6 0

B 6 0 Q 7/00

6 6 0 D

A 6 2 B 37/00

A 6 2 B 37/00

C

B 2 5 D 1/00

B 2 5 D 1/00

B 2 6 B 11/00

B 2 6 B 11/00

A

F 2 1 L 11/00

F 2 1 L 11/00

H

審査請求 未請求 請求項の数6 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号

特願平9-102890

(22) 出願日

平成9年(1997)4月21日

(71) 出願人 590002367

小林 操二

埼玉県川口市本町1-7-3

(72) 発明者 小林 操二

埼玉県川口市本町2-3-16

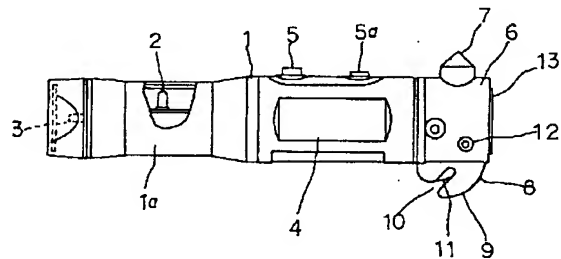
(74) 代理人 弁理士 大橋 弘

(54) 【発明の名称】 自動車用非常灯

(57) 【要約】

【目的】 水中に転落した車内から脱出するために、窓ガラスを叩き割ったり、シートベルトを切断するためのハンマー及びカッターを別々に用意しなくて済むようにする。

【解決手段】 非常信号灯1の一部にハンマーヘッド6とカッター8を取り付けておき、これで窓ガラス14を叩き割ったり、シートベルト15を切断して、水中に転落した車内から脱出する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 スイッチONにより発光体が点滅する非常灯の一部にハンマーヘッドを取り付けて成る自動車用非常灯。

【請求項2】 ハンマーヘッドに加えてシートベルトカッターを取り付けて成る請求項1記載の自動車用非常灯。

【請求項3】 非常灯の一部に水センサを取り付け、この水センサが水を検出するとスイッチがONとなって発光体が点滅する請求項1又は2記載の自動車用非常灯。

【請求項4】 発光体に加えて照明ランプを取り付けて成る請求項1又は2又は3記載の自動車用非常灯。

【請求項5】 ハンマーの一部に水センサを取り付けると共にこの水センサが水を検出したときに電池で点滅又は点灯する発光体をハンマーの一部に取り付けて成るハンマー。

【請求項6】 ハンマーの一部にシートベルトカッターを取り付けて成る請求項5記載のハンマー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、水中に転落した車から脱出するために、窓ガラスを叩き割るための機能と、シートベルトを切断する機能と、万一水中に転落したときに、自動的にスイッチがONとなって非常灯が点滅することにより、水中に転落車があることを知らしめるための自動車用非常灯に関する。

【0002】

【従来の技術】岸壁などから誤って車ごと水中に転落し、閉じ込められたまま死亡する事故を防止するために、一部の車にはハンマーが常備されている。しかし、殆どの車にはハンマーが常備されていないことと、携行に便利なハンマーも少ないことから、現状では不携行車が多い。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明に係る点に鑑みて提案されるものであって、その目的は、車に常備されている非常信号灯にハンマーヘッドを構成し、このヘッドを用いて窓ガラスを叩き割って脱出したり、非常信号灯に取り付けたカッターを用いてシートベルトを切断したりできる自動車用非常灯を得ることである。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために提案する本発明の構成は次のとおりである。

1. スイッチONにより発光体が点滅する非常灯の一部にハンマーヘッドを取り付けて成る自動車用非常灯。

2. ハンマーヘッドに加えてシートベルトカッターを取り付けて成る前記1記載の自動車用非常灯。

【0005】3. 非常灯の一部に水センサを取り付け、この水センサが水を検出するとスイッチがONとなって発光体が点滅する前記1又は2記載の自動車用非常灯。

4. 発光体に加えて照明ランプを取り付けて成る前記1又は2又は3記載の自動車用非常灯。

【0006】5. ハンマーの一部に水センサを取り付けると共にこの水センサが水を検出したときに電池で点滅又は点灯する発光体をハンマーの一部に取り付けて成るハンマー。

6. ハンマーの一部にシートベルトカッターを取り付けて成る前記5記載のハンマー。

【0007】

【作用】ハンマー付の非常信号灯は、運転席の近くに取り外し易いようにして常備していて、水中に車が転落した場合、この非常信号灯を取り外し、非常信号灯の部分を握ってハンマーヘッドにより窓ガラスを叩き割る。ハンマーヘッドは鉄が最適であり、先端を尖らせることにより、ガラスを割り易いようにしておく有効である。カッターは、怪我をしないように、ガードの中に組み込まれていて、ここにシートベルトを挿入して切断できるようにすると安全であるが、原則的には、このカッターの構造は自由である。又、水センサが水を検出すると、発光体の電源回路を閉成してこれを点滅させる。

【0008】

【発明の実施の形態】

【実施例1】図1～図3に本発明に係る非常信号灯を示す。符号の1は非常信号灯本体、2はこの本体1の胴体部1aを透明体で形成し、この中に組み込まれた非常信号灯としての発光体(LED)、3は本体1の先端に取り付けられた照明ランプ、4は電池、5、5aは前記発光体2及び照明ランプ3用のスイッチであって、このスイッチ5aにより前記発光体2を点滅させることができ、スイッチ5により照明ランプ3を点灯することができる。なお、実施例の非常信号灯には、照明ランプ3が組み込まれているが、この照明ランプ3を除き、発光体2のみから成る非常信号灯にも本発明は実施化が可能であり、技術的範囲内である。又、実施例1の非常信号灯は防水構造である。

【0009】6は本体1の後端に取り付けられたハンマーヘッドであって、このハンマーヘッド6は横向きに先が尖ったハンマー部7が形成してあり、鉄製である。但し、このハンマー部7の材質はハンマーとして機能する限り、他の材質のものでもよい。

【0010】8はハンマーヘッド6の部分に取り付けられたカッターであって、このカッター8はガード9と、このガード9でカバーされた溝10内にカッター部11を取り付けて露出させない工夫がしてあり、シートベルトは、この溝10内に入れて切断する。但し、カッター8の構造は任意である。12は水センサ、13は永久磁石である。

【0011】図4は電気回路図であって、水センサ12が水中に沈して作動すると、スイッチ12aを閉成し、自動的に発光体2を点滅させる。図5は非常信号灯本体

1の部分握り、窓ガラス14を叩き割っている状態の説明図、図6はカッター8でシートベルト15を切断している状態の説明図、図7は本発明に係る非常信号灯を運転席に携行している状態の説明図である。以上の実施例は請求項1～4に対応している。

【0012】

【実施例2】この実施例は、公知のハンマーの一部に水センサと発光体及び電源を組み込み、前記水センサが水を検出すると発光体が点滅するものである。以上の実施例は請求項5に対応している。なお、発光体、電源のすべては防水構造である。

【0013】

【実施例3】この実施例は、シートベルトカッターをハンマーの一部に設けておくことにより、シートベルトを切断できるようにしたものである。以上の実施例は請求項6に対応している。

【0014】

【発明の効果】本発明は以上のように、非常信号灯にハンマーヘッド及びカッターが取り付けられているため、次の効果を奏する。

【0015】1. 非常信号灯とハンマーを別々に用意する必要がない。

2. ハンマーを別に用意する必要がないので、経費が安い。

3. 車内の運転席以外に、助手席、後部座席近傍にも用意しておくと、同乗者が脱出するために近くの窓ガラスを叩き割ることもでき、安全上有効であるが、このような場合でも、経費がかからないと共に、場所をとらない。

【0016】4. 水センサが水を検出すると、自動的に発光体が点滅するので、夜間や汚れた水中に転落した場合でも転落位置が直ぐ判り、救助の手助けとなる。

5. シートベルトカッターも一緒に付いているため、シートベルトが外れない場合には、このカッターを用いてシートベルトを切断し、脱出することができ、安全であ

る。

【0017】6. ハンマーに自動発光体を取り付けたことにより、上記4と同一の効果を奏する。

7. ハンマーにシートベルトカッターを取り付けたことにより、上記5と同一の効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るハンマー及びカッター付非常信号灯の平面図。

【図2】本発明に係るハンマー及びカッター付非常信号灯の側面図。

【図3】本発明に係るハンマー及びカッター付非常信号灯の下面図。

【図4】電気回路図。

【図5】ハンマーヘッドで窓ガラスを叩き割っている状態の説明図。

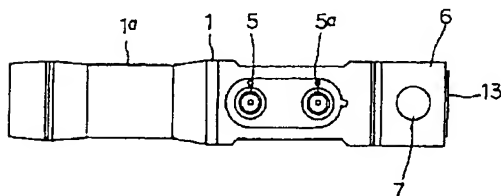
【図6】カッターでシートベルトを切断している状態の説明図。

【図7】運転席に非常信号灯を携行している状態の説明図。

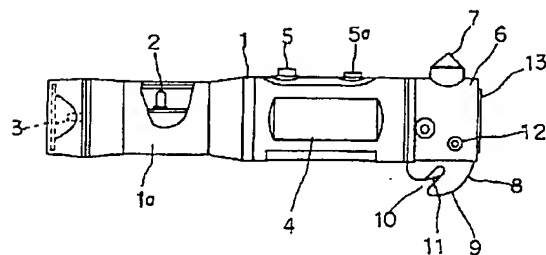
【符号の説明】

- 1 非常信号灯本体
- 2 発光体（LED）
- 3 照明ランプ
- 4 電池
- 5、5a スイッチ
- 6 ハンマーヘッド
- 7 ハンマー部
- 8 カッター
- 9 ガード
- 10 溝
- 11 カッター部
- 12 水センサ
- 13 永久磁石
- 14 窓ガラス
- 15 シートベルト

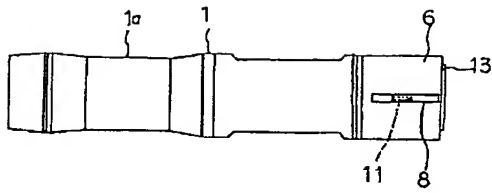
【図1】



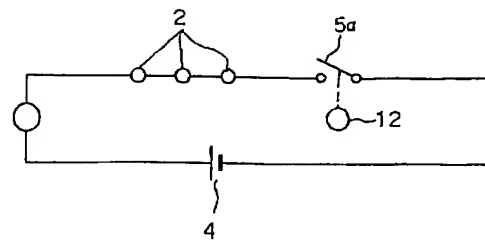
【図2】



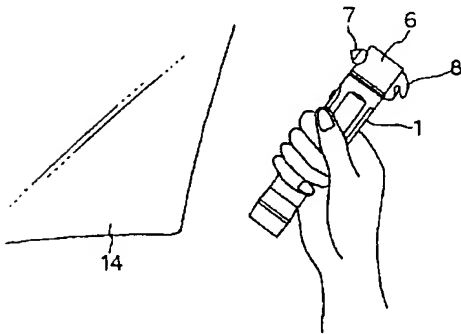
【図3】



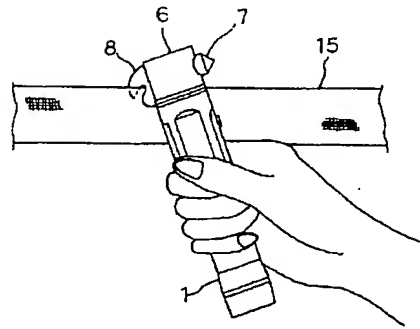
【図4】



【図5】



【図6】



【図7】

